

労使研

労使関係研究協会

〒105-0014
東京都港区芝2-20-12
友愛会館9階
一般財団法人日本労働会館内
TEL.03-3453-5386
FAX.03-3451-1710
<http://roshiken.net/>
roshiken@rodokaikan.org

「情報」第64号 2023年9月

友愛会創立を記念する会 111周年記念式典・パーティー 4年ぶりにフル開催叶う



2023年8月1日（火）、友愛会創立111周年記念式典が開かれました。主催は友愛会創立を記念する会（会長（高木剛氏）で、連合の後援をいただいています。式は午前11時から、支援団体、個人会員、招待者など108人の参加を得て行われました。

記念式典は司会の河野電力総連事務局長の挨拶に始まり、物故者黙とう、主催者代表挨拶、来賓挨拶（連合、民社協会、政策研究フォーラム。挨拶概要は次ページ以降）と続きました。パーティーはコロナ禍の影響で4年ぶりに開催。坂田電力総連会長の乾杯挨拶で始まり、1時間ほどの和気あいあいの時間を過ごしました。

支援団体は海員組合、基幹労連、基金労組、交通労連、JP労組、自治労連、電力総連、日産労連UAゼンセン、味の素労組、JX金属労組、凸版労組、三菱自工労組、(株)友愛会館、(一財)日本労働会館の15団体。



会場内で井堀繁雄小展も開催

主催者代表あいさつ

友愛会創立を記念する会 高木剛会長



今年に友愛会創立以来111年目の8月1日。暑い中、この記念する会の集いにご参集賜ったことに、心から御礼を申しあげる。ロシアによるウクライナ侵攻が起こってから、労働組合と戦争の関係に思いが至ることがある。今日は労働組合と戦争、そしてILOという話をさせていただこうと思う。大正3年、1914年にヨーロッパで勃発した第一次世界大戦は国民国家による初めての総力戦と言われる、多くの国民が巻き込まれた戦争だった。ヨーロッパを中心とした各国の労働組合も戦争に協力をするというスタンスで対応したようだ。アメリカはAFL (American Federation of Labor) というナショナルセンターがあり、会長がゴンパースだった。彼はアメリカが参戦するにあたって政府の要請で国防会議の諮問委員会の委員を引き受け、アメリカの労働組合としてもこの戦争に協力してい

こうという対応をした。このアメリカの参戦によって1917年に戦争が終結し、パリ講和会議がもたれ、各国の労働組合の代表もメンバーとして参加した。会議では第一次世界大戦後の労働をめぐる国際的な課題についても議論が及び、ベルサイユ講和条約の中でILOの設立が確認された。これは戦争に協力した労働者へのご褒美という面があったようだ。

ILO創設に向けての議論をリードしたのがゴンパースで、「労働は商品ではない」という言葉を書き込むことに尽力した。彼の信念は団体交渉を重視しよう、政党に力を借りる運動ではなく、労働組合自らが自らの運動として労働者のために働こうという、いわゆる労働組合主義に徹した考えの人だったと伝えられている。

ゴンパースにわれら友愛会の創設者である鈴木文治も会っている。会談の詳細はわからないが、皆さんの手元に配られている本日の会合のしおりの中に、友愛会の綱領がある。綱領の最後の3つめの「我等は協同の力に依り着実なる方法を以て我等の地位の改善を図らん事を期す」と書かれている。当時の日本は労働組合を非公然のもの、法律で労働組合の存在を認めるという社会にはなっていなかった。そういう中で「協同の力に依り」の部分と「着実なる方法を以て」という部分が労働組合主義を標榜し、控えめに謳った表現ではないかと読む人が多いようだ。鈴木文治はILOの設立にも関わり、副理事も務めた。友愛会創立を記念する会のこの集いの開催にあたって、鈴木文治とILOのことも触れさせてもらった。

最近は線状降水帯などで水害に遭われた方も全国に多いようだ。気候変動の問題、ウクライナの戦争終結等々、世界が平和に向かい、また安穏な生活に向かうことを祈念して、開会のあいさつとする。暑い中ご来場いただき、ありがとうございました。

来賓あいさつ

連合（日本労働組合総連合会） 清水秀行事務局長

友愛会創立を記念する会、連合としても後援という形で、本来であれば会長の芳野が皆さんにごあいさつするところ、ご勘弁いただきたい。1912年に友愛会が創立されて以来鈴木文治初代会長が唱えた、友愛的・人格向上的組合主義の思想が脈々と受け継がれてきたことに心から敬意を表します。この歴史につながる、現下の連合の取り組みについていくつか触れさせていただきたい。

一つ目は2023春季生活闘争。30年あまり続いた慢性デフレから、円安やロシアのウクライナ侵略によって物価高が進んだ。暮らしを守り未来をつくる、を合い言葉に、3.5%を超える高水準で賃上げが実現した。中小組合に限ってみても、3.23%。しかし実質賃金としてみれば反転攻勢とまでは言えない状況である。今次闘争を転換点として、

賃上げの流れが継続していくよう今後も取り組みを強化していきたい。

2つめは、ジェンダー平等・多様性推進。芳野会長就任以来連合のすべての取組にジェンダー平等の視点を入れることを訴えてきた。運動方針や連合の重点政策、各種会議への参加などには、ジェンダーバランスを意識する行動がみられるようになった。しかし、連合全体を見渡してみると、女性組合員比率の37.2%に対し、女性執行委員の比率は構成組織で17.2%、地方連合会で14.6%となっている。意思決定の場における女性比率は、未だ低調である。世界経済フォーラムが6月に発表したジェンダーギャップ指数では日本は世界で125位と低迷しており、前年から9ランクダウン、順位は2006年の公表開始以来最低となった。

まずは集団に影響を与える分岐点・クリティカルマスと言われる30%をめざしつつ、各単組・産別の女性組合員比率に応じた、意思決定の場への参画機会の確保に重点をおいた（ジェンダー平等の推進計画フェーズ1）取り組みをより一層加速させるべく、さらに努力を積み重ねていきたい。

結びに、鈴木文治初代会長は、故郷宮城の教会で洗礼を受け、キリスト教徒として生涯を過ごした。キリスト教の教えが鈴木文治初代会長の思想的な基盤となり、日本の労働運動の萌芽となったとも言えるのではないか。新約聖書のマタイ伝は、かの有名な「地の塩、世の光」という一節がある。政治、経済、社会、ジェンダーのあらゆる側面において、日本が低迷・低空飛行から抜け出せずにいる今こそ、労働組合がまさに地の塩、世の光として、すべての働く者にとって必要とされ、働く者の心を明るく照らす存在に近づけるよう、労働運動のさらなる発展に力を尽くしていくことを誓い、引き続きの連合運動への皆様のご理解・ご協力をお願い申しあげる。



民社協会 川合孝典会長

2023年の友愛会創立を記念する祝賀会の開催誠にありがとうございます。コロナ渦で直接ごあいさつする機会がなかったので、この場を借りて自己紹介をさせていただく。私はU Aゼンセンの出身で、現在3期目の参議院議員である。5月に第30回民社協会総会があり、5代目会長であった小林正夫前参議院議員より会長職を引き継ぎ、第6代会長に就任させていただいた。初代の米澤隆先生から田中慶秋先生、川端達夫先生、高木義明先生、そして前任の小林正夫先生、この錚々たる5名の先生方と比較したときに、全くの若輩者であるが、改めて皆様のご厚誼を賜るよう心からお願い申しあげる。民社協会所属議員は産別出身の参議院議員6名、新人の衆議院議員2名の8名で活動し、国民民主党に所属している。国民民主党が現在衆参21名の政党なので、8名というのは最大派閥ということになるだろうか。小さな最大派閥だが。そして現在国民民主党として考えているのは、自民党一強状態が続いている状況に対して、国政の活動の中で一石を投じなければいけないというだ。この10年で既に7度の国政選挙が行われた。いずれも自民党一強状態を温存する結果になった。

自民党、自公政治というのは素晴らしい政治なのかと問えば、多くの国民・有権者は首をかしげる。にもかかわらず自民党が勝つ。理由は、自公の政治はだめだけど、野党の方がもっとだめだという、有権者の野党に対するダメだしだと思ふ。

私たちは自民党政治に向き合うもう一つの対立軸を作らなければいけないと、この20年近くにわたって活動を続けてきたが、その結果がまだ見えない状況にある。改めて、私たち議員は誰のため、何のためにバッジをつけて活動しているかと自ら省み、応援をいただいている皆様のために身を捨てて闘う覚悟をし直さなければいけない。

いつ解散総選挙があるか見えない状況。内閣支持率が現在かなりのスピードで下落



ており、今後（国民向けの）経済政策や社会保障政策等を打ってくると思う。そうした動きに我々は一喜一憂することなく、ご支援をいただいている皆様の思い、声にしっかりと耳を傾け、皆様が納得いただける政治を民社協会として進めていきたい。

この会が始まって59回目と冒頭ご紹介いただいた。私も59歳で、第1回の祝賀会するとき生後7ヶ月だった。若輩者ではあるが、還暦を迎えて先もみえ、限られた時間の中で、民社協会としての政治活動を進めていく。引き続きの皆様のご理解・ご指導をお願い申しあげ、あわせて皆様のますますのご健勝・ご活躍を心より記念申しあげ、ごあいさつとさせていただきます。

政策研究フォーラム 谷口洋志理事長

創立111周年誠にありがとうございます。友愛会に繋がる方々がこのような形で結集でき、高木会長以下の皆様方に厚く御礼を申しあげたい。政策研究フォーラムは2007年10月2日に現在の形でスタートした。以前の旧政策研究フォーラムは1994年に活動を開始、その源流は1960年の民主社会主義研究会議である。私が大学院で指導を受けた小松雅雄先生はこの民主社会主義研究会議で一時議長をされていた。政研フォーラムは友愛会の思想、考え、運動を原点にもつ。その後総同盟、同盟運動、友愛会議、そして友愛会、友愛連絡会と続いた。そして民社党、民社協会の皆様方、最近ではもちろん連合の皆様方、より近いところにはKAKKINの皆様方、富士社会教育センターのと、素晴らしい仲間がたくさんおられ、うれしく思っている。



政研フォーラムは自由公正連帯を理念とし、政策の研究開発、そして提言をめざしている団体。6月に1週間あまり中国へ行ってきたが、あちこちの公共施設では社会主義、革新価値観の標語が掲げられている。全部で12。「富強」「民主」「文明」「和諧」「自由」「平等」「公正」「法治」「愛国」「敬業」「誠信」「友善」。政研フォーラムと同じものが2つ入っている。しかも「民主」「平等」まで入っている。同じ言葉を掲げているが、政策研究フォーラムの民主社会主義の思想につながる「自由公正連帯」を一言で言うと、SSSあるいはSSW、この3つになるかと思う。

1つめはSecurity(national security)、国の安全保障、私たちは一番まじめに取り組んできた。2つめはSustainability、環境問題、持続可能性、私たちが切り開いてきた分野でもある。3つめのWあるいはSはwelfare(福祉)、今日の制度的には社会保障(social security)。昨年亡くなられた丸尾直美先生が福祉経済政策を提唱された。SSS、SSWを今後も引き継いで発展させていきたい。

連合の芳野会長も仰っていると思うが、最後に付け加えたい言葉がDIである。diversity、多様性。いろんな意味での多様性を認め合うという発想。Iはinclusion、social inclusion、社会的包摂。これこそ連帯の思想そのものではないか。

この自由公正連帯というたいへん素晴らしい理念は友愛会あるいは民社思想に結集された皆さんの先達の賜ということで、政策研究フォーラムとしては素晴らしいこの伝統を発展させて次の世代に繋げなければいけないと思っている。今後ともどうかよろしくお願い申しあげます。



司会は記念する会の河野一生事務局長（左）、乾杯の発声は坂田幸治副会長（右）。

友愛労働歴史館の活動

I 展示会・講演会活動について

友愛会系労働運動の歴史資料館として2012年8月に新装オープンした友愛労働歴史館は、先達のメッセージを読み解き、再発信することをスローガンに①展示会・講演会の活動、②資料の収集・管理、調査・研究の活動、③情報発信・PRの活動などに取り組んでいる。

1. 展示会（常設展）活動

展示会活動は常設展を通年開催している。

「日本労働運動の100年余-友愛会・総同盟(戦前)を中心とする」は、今年通算(1月～8月)1,026名が来館した。新型コロナに関わる規制緩和とともに団体見学も回復傾向であるが、元に戻る気配はない。また、コロナ規制緩和の中でも団体移動に懸念する組織から出張講演を望む声が大きく、2022年1月より出張講演を積極的に受けることにし、出張講演の受講者数を来館者数に加味することとした。出張講演受講者数は集計以来で全体の60.8%にあたり、延べ1,110名に及ぶ。2012年8月1日の新装オープン以来の延べ入館者数(名)は、12,412名(2023年8月末日現在)となった。

2. 講演会活動

賛同会員の組織等からの講演依頼については積極的に受けている。コロナ禍で集団移動に懸念をする組織が多く、出張講演は好評を得ている。

II 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は年間を通し、資料の収集・管理に取り組んでいる。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいる。

1. 資料の収集・管理

友愛労働歴史館は連合資料室、社会・労働関係資料センター連絡協議会（労働資料協）と連携し、①友愛会から総同盟・同盟までの民主的労働運動、②社会民衆党から社会党・民社党までの民主的社会主義運動、③福澤諭吉や安部磯雄らユニテリアン教会・惟一館（現友愛会館）ゆかりの社会運動に関する資料の収集・管理に取り組んでいる。



◀受入資料の一部。
機関誌『ゆにてりあん』
第1号など。

III 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館は、インターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信、ホームページでの情報提供・PRなどに取り組んでいる。また、研究者・学生等への相談対応、資料提供などに取り組んでいる。

1. メールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信

2023年1月以降9月の間、184号(1月31日)、185号(2月28日)、186号(3月27日)、187号(4月29日)、188号(5月31日)、189号(7月03日)、190号(7月31日)、191号(9月04日)、192号(9月28日)まで発信。2023年8月末現在のメールアドレス登録者は1354名である。

2. 労働歴史館ホームページ

友愛労働歴史館は情報提供用にホームページ<http://www.yuairodorekishikan.com>を開設し、随時更新している。

3. 労働歴史館・公式ツイッター、その他による発信

友愛労働歴史館は公式ツイッター(@yuarekishikan1912)で情報発信している。

東京観光・出張・研修の宿泊は
ローズステイ東京芝公園をご利用ください



ローズステイ東京芝公園
公式WEBページ